

研究課題「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究のデータ解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

愛知医科大学が主体研究責任者を務める「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究」において対象とした方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：本研究は、愛知医科大学が主体研究責任者を務める「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究」において収集されたデータ解析を行うことを目的とする。

本研究では、大規模な症例対照研究により、これまで検出できなかった要因についても膵がん、胆道がんとの関連の分析が可能となる。特に、膵がん、胆道がんでは生活習慣単独では強い関連要因が報告されていないことから、遺伝子多型と生活習慣の交互作用を検討できることの意義は大きい。また、本研究では、わが国の患者、健常者を対象とするため、得られた成果はわが国でそのまま応用可能である。特に遺伝子多型と生活習慣との交互作用についての分析結果から日本人の膵がん、胆道がんのハイリスクグループを同定するのに役立ち、予防に大きく貢献することが期待できる。

方法：本研究では、愛知医科大学が主体研究責任者を務める「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究」において収集されたデータを解析に用いる。膵がん、胆道がんの有無をアウトカムとして、遺伝子多型や生活習慣の影響を解析する。

本学においては、統計解析の業務を担当する。

研究期間：実施承認日から 2021(令和 3)年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

PS、生検日、生死、初回治療開始日、最終生存確認日、診断名、ステージ、転移部位などの情報。

また、愛知医科大学にてリアルタイム PCR, TaqMan® SNP Genotyping Assays を用いた SNP genotyping により測定した情報。

4. 外部への試料・情報の提供

主体研究で集めた資料・情報の国内外共同研究への提供については、研究対象者に説明した上で、文書による同意を取得済みです。我々が愛知医科大学から受け取るデータは、CD 媒体による匿名化済みのデータです。匿名化は愛知医科大学において行われています。当院から情報を提供することはありません。

5. 研究組織

1 研究責任者

名古屋大学院医学系研究科看護学専攻健康発達看護学・准教授・中枿 昌弘

2 研究分担者

名古屋大学大学院医学系研究科・予防医学・教授・若井 建志

名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 データセンター・病院助教・木下 文恵

名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 データセンター・技術員・小林 由美子

3 共同研究者

愛知医科大学医学部公衆衛生学・教授・菊地正悟

札幌しらかば台病院・病院長・遠藤高夫

札幌しらかば台病院・消化器内科・部長・足立靖

がん研究会有明病院・消化器内科・部長・笹平直樹

神奈川県立がんセンター・消化器内科・医長・上野誠

千葉がんセンター・治験・臨床研究センター長・石井浩

東京都立広尾病院・院長・江川直人

愛知県がんセンター・がん予防研究分野・分野長・松尾恵太郎

愛知県がんセンター・がん情報・対策研究分野・分野長・伊藤秀美

愛知医科大学・消化器内科・教授・中尾春壽

愛知医科大学医学部公衆衛生学・教授（特任）・林櫻松

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学院医学系研究科看護学専攻健康発達看護学・准教授・中枿 昌弘

住所 名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 20 号

直通電話番号 052-719-1923

研究代表者：

愛知医科大学医学部公衆衛生学・菊地正悟